

平成 23 年 6 月 30 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は生産活動が弱含み、雇用情勢も低調に推移するなど、全体として厳しい状態が続いているものの、個人消費や観光関連に持ち直しの動きがみられる。

生産活動は、電子部品関連が弱含み、食品関連は伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額が前年をわずかに上回った。新車販売台数（乗用車・軽自動車）は震災の影響により大きく落ち込んだ状態が続いているものの、減少幅は前月より改善した。投資関連では、公共工事が減少した一方、民間建築工事、住宅着工は増加した。観光入り込み客数は、九州新幹線全通効果により前年を上回った。

【生産活動】 … 弱含み

電子部品関連は、弱含んでいる。懸念された原材料調達は震災前の水準に戻りつつあるが、受注の動きは依然弱い。

5 月の**生コン生産（出荷量）**は、公共工事向け出荷、民間工事向け出荷ともに前年を上回り、全体で 7.5% 増となった。

5 月の**紙パルプ生産**は、4 カ月連続で前年を上回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

焼酎の生産・出荷は前年割れが続いているものの、九州新幹線全通効果により土産品に動きがみられる。

4 月の**かつお節生産**は、3 カ月連続で前年を下回った。

【畜産関連】 … 持ち直している

肉用牛（和牛）の枝肉相場は低調に推移している。一方で子牛価格は、宮崎など県外農家の子牛購入意欲が強く、一昨年の水準を上回った。豚肉相場は枝肉の出荷量減少により、前年を上回っている。ブロイラー相場、鶏卵相場は前年を上回る水準で推移している。

【消費関連】 … 持ち直しの動き

4月の大型小売店（百貨店・スーパー）販売は衣料品はほぼ前年並み、飲食料品は催事や新店効果などにより前年を上回った。全体では0.8%増と4カ月連続で前年を上回った。

5月の乗用車新車販売台数は、45.0%減と8カ月連続で前年を下回った。メーカーからの供給不足は続いているものの徐々に回復しており、減少幅は前月を下回った。車種別にみると、普通車は51.7%減、小型車は39.7%減となった。また、軽自動車も28.7%減と8カ月連続で前年を下回った。

【観光関連】 … 持ち直しの動き

5月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、6.0%増と10年2月以来15カ月ぶりに前年を上回った。鹿児島地区は九州新幹線全通効果により前年を上回った。指宿地区は関西・中国・福岡など新幹線沿線からの入り込みが伸び、前年を大幅に上回った。一方、霧島地区は震災や新燃岳噴火の影響で前年を下回ったものの、関西からの入り込みが増えるなど明るい兆しもみられ、減少幅は改善している。種子島・屋久島地区は団体客が減少し前年を下回った。5月の主要観光施設入場者数は、九州新幹線全通効果で個人・団体ともに好調に推移した。

【投資関連】 … 一部で持ち直しの動き

5月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

4月の民間建築工事は、件数、床面積、工事費予定額のすべてにおいて前年を上回った。水準は低いものの、一部に持ち直しの動きがみられる。4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲ともに前年を上回り、全体で23.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。5月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、前年を上回った。

【貿易関連】 … 輸出は持ち直しつつある

4月の**輸出額**は、タイヤ・チューブが前年を下回ったものの、半導体等電子部品が前年を上回り、全体で24.5%増と3カ月連続で前年を上回った。**輸入額**は、原油及び粗油が前年を上回り、全体で39.9%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

【雇用情勢】 … 緩やかに改善

4月の**有効求人倍率**は、前月を0.01ポイント上回る0.53倍と緩やかに改善しているが、雇用情勢は依然として厳しい。

【金融情勢】 … 低調

資金需要は、総じて弱含んでいる。

【企業倒産】 … 件数、負債総額ともに前年を上回った

5月の**企業倒産**は、件数が8件と前年同月（5件）を上回り、負債総額も17億5百万円と前年同月（2億円）を上回った。

以 上